

品 番

DP-34499E・DP-34501E・DP-36597E

このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。

お客様へ

- ご使用の前に安全上のご注意と取扱説明をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- 施工には電気工事士の資格が必要です。必ず販売店・工事店にご依頼ください。
- 本説明書は大切に保管してください。

工事店様へ

- 施工前に安全上のご注意と施工説明をよくお読みのうえ、正しく施工してください。

安全上のご注意

必ずお守りください。



警告

この表示は「取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される内容」を示します。

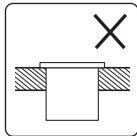


注意

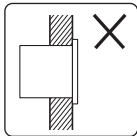
この表示は「取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うか物的損害の発生が想定される内容」を示します。

警告

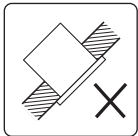
この器具は天井取付専用(埋込式)です。指定場所以外には取付けしないでください。火災・落下の原因となります。



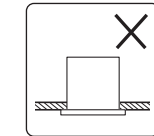
床面



壁面



傾斜壁面



補強のないロックウール等のやわらかい天井

マット敷工法(住宅用人工鉱物繊維断熱材(JIS A 9521))・ブローイング工法(吹込用繊維質断熱材(JIS A 9523))で断熱施工された天井に使用できません。特殊な断熱・遮音・防音施工された天井には使用しないでください。過熱して火災の原因となります。

器具本体表示または本説明書に従って施工してください。施工に不備があると、火災・感電・落下の原因となります。

この器具は防滴形器具です。湿気が多い場所や浴室・サウナでは使用しないでください。火災・感電の原因となります。

この器具は耐塩仕様ではありません。塩害地域には取付けしないでください。早期に錆・腐食等が生じ、火災・感電・落下の原因となります。



禁止



分解禁止



厳守

器具に荷重をかけたり、布や紙等の可燃物で覆わないでください。器具の真下にストーブ等の温度の高くなるものを置かないでください。火災・感電・落下の原因となります。

屋内配線の電源・ケーブル等が本体に接触しないように施工してください。施工に不備があると、火災・感電の原因となります。

器具の改造、部品の変更は行わないでください。火災・感電・落下等の原因となります。

指定以外の照明器具には使用しないでください。また、電動機器、空調機器などの制御には使用しないでください。誤動作によるけがや事故の原因となります。

HID器具、リモコン内蔵器具または調光器との併用はできません。火災の原因となります。調光機能が付いた壁スイッチの場合は、一般の入切用スイッチに交換が必要です。

煙・臭い等の異常を感じたら、すぐに電源を切ってください。火災・感電の原因となります。異常がおさまったことを確認したのち、工事店、お買い上げの販売店、または弊社「CSセンター」にご相談ください。

注意

電気工事が必要な場合は、電気設備の技術基準に従って有資格者が行ってください。一般の方の工事は法律で禁止されています。

●照明器具には寿命があります。

設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換してください。

※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯。

周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。

●3年に1回は、工事店等の専門家による点検をお受けください。

点検せずに長時間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電等に至るおそれがあります。

- 施工前に施工説明をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- 本説明書は必ずお客様にお渡しください。

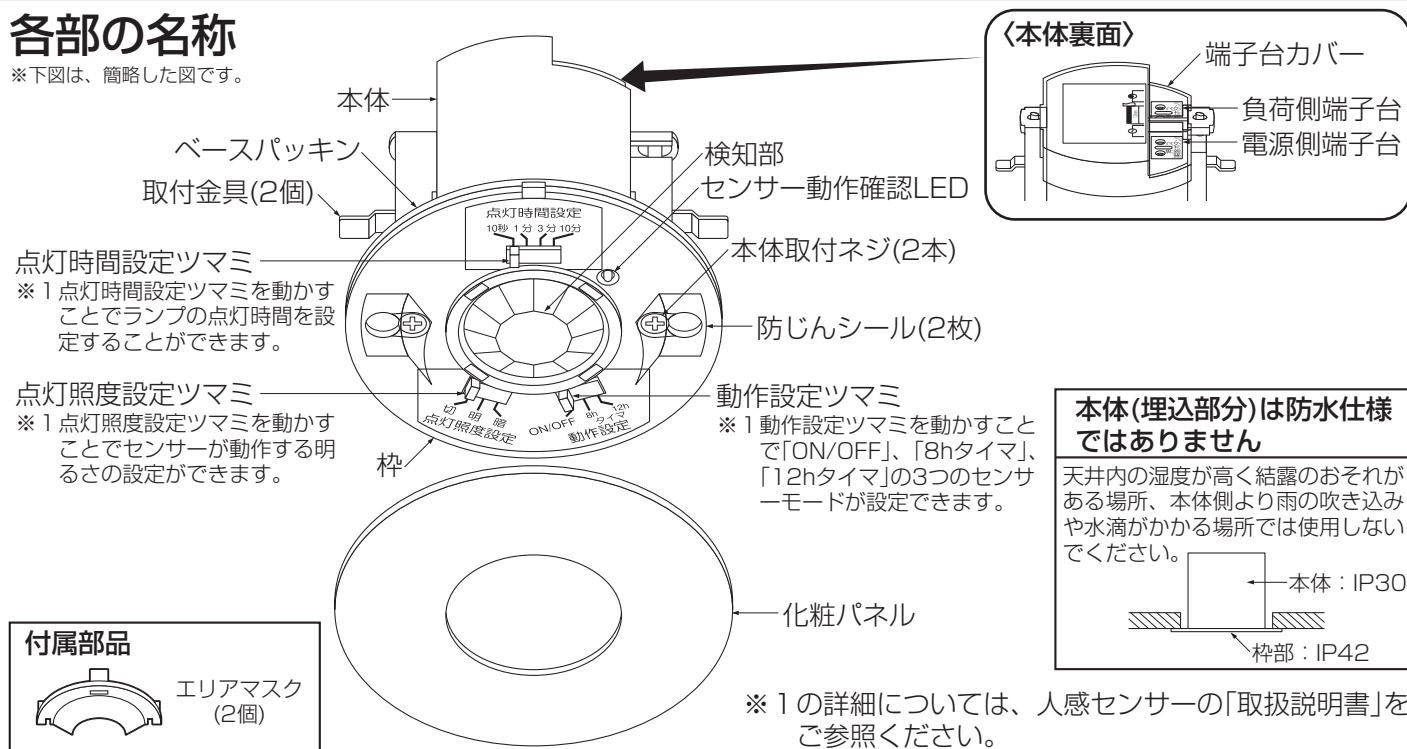
仕様

- 屋内・軒下兼用(防滴形)
- 天井取付専用(埋込式)
- 高気密
- マット敷工法〔住宅用人工鉱物繊維断熱材(JIS A 9521)〕・ブローイング工法〔吹込用繊維質断熱材(JIS A 9523)〕で断熱施工された天井に使用可能
- 金具取付方式

品番	DP-34499E・DP-34501E・DP-36597E		
定格電圧	交流 100V		
周波数	50/60Hz兼用		
適合負荷 (別売)	白熱灯(ハロゲン含む)	300Wまで	
	蛍光灯 銅鉄安定器(低力)	100Wまで	
	インバータ	32Wまで	
	電球形蛍光灯 60Wタイプ	3個まで	
	100Wタイプ	3個まで	
	LED	240VAまで	
点灯照度	暗 ・ 明 ・ 切 (15 lx) (45 lx) (10000 lx)		
点灯時間	10秒・1分・3分・10分		
動作	ON/OFFモード・8時間タイマーモード・12時間タイマーモード		
強制オン時間	1時間		
検知距離	天井高さ約7mまで		
器具重量	約0.2kg		
電源接続	端子台		

各部の名称

※下図は、簡略した図です。



付属部品

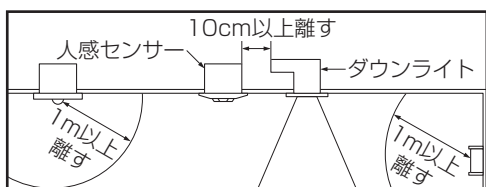


エアーマスク
(2個)

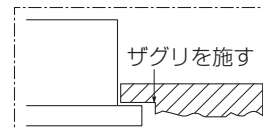
1 取付け前の注意事項について

- 日光、ヘッドライトなどの強い光があたる場所は避けてください。
- 風の強く当たる場所(エアコンの吹き出し口付近)は避けてください。
- 照明器具から1m以上離れた場所に取付けてください。(検知エリアに照明器具の光が入らないようにしてください。)
- ダウンライトのそばに取付ける場合は、10cm以上離れた場所に取付けてください。

※ただし、天井面よりランプが下に飛び出しているダウンライトは1m以上離してください。
(検知エリアに照明器具の光が入らないようにしてください。)



- 以下の天井に取付ける場合は、器具の取付バネと天井の間に必ず補強材(鉄板、木片等)を入れてください。
 - ・ロックウール等のやわらかい天井
 - ・珪酸カルシウム板の天井
- 取付面が充分乾燥してから器具を取付けてください。乾燥が不充分だと器具のメッキ部や塗装部が侵されたり、絶縁不良の原因となります。
- 表面に1mm以上の凹凸がある天井はザグリをし、平らにしてください。そのまま取付けると、光モレ・気密性の低下の原因となります。



警告



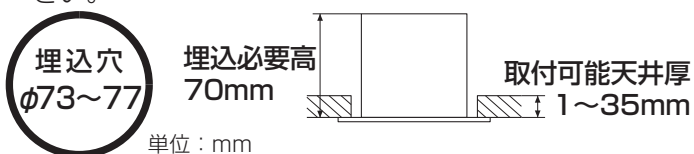
厳守

壁スイッチは必ず設けてください。動作点検確認の為、必要です。

施工説明

② 天井面を確認する

- 埋込穴と埋込必要高、取付可能天井厚を確認してください。

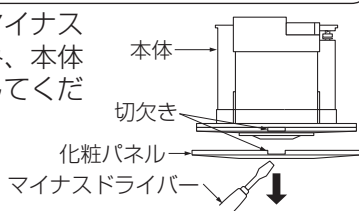


⚠ 警告

指定寸法以外の天井には取付けしないでください。落下の原因となります。

③ 化粧パネルを取外す

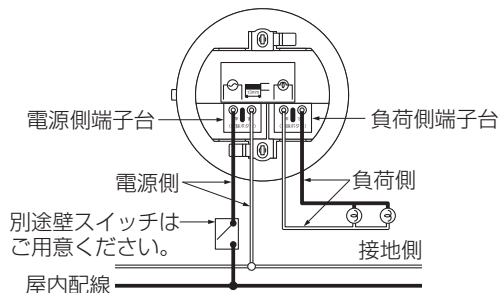
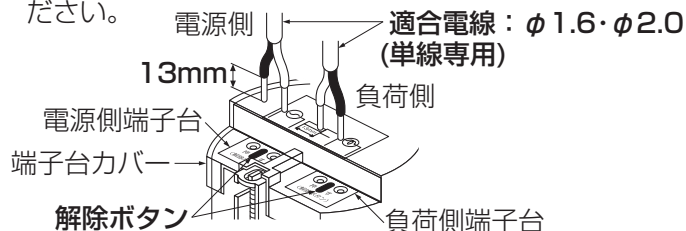
- 化粧パネルの切欠きにマイナスドライバー等を差し込み、本体から化粧パネルを取外してください。



④ 電源を接続する(作業前、必ず電源を切る)

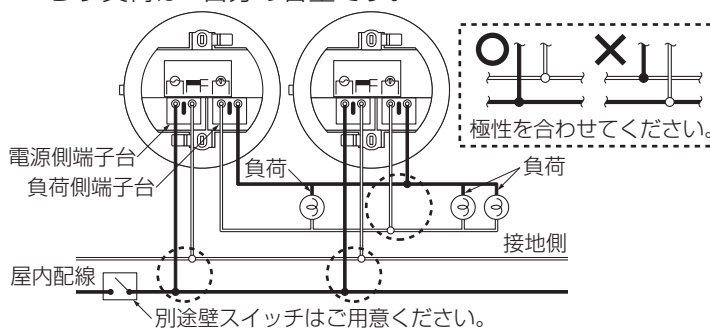
- 電源線と端子台を適切、確実に差し込んでください。

※本体に端子台カバーが取付いていることを確認してください。



<同一回路に複数台接続する場合>

- 最大5台まで接続できます。ただし、接続台数にかかわらず負荷は1台分の容量です。



⚠ 警告

適合電線を使用し、確実に接続してください。接続が不完全な場合、火災の原因となります。

定格以外の電圧では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

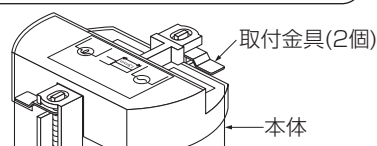
負荷側端子台に電源線を差し込まないでください。故障の原因となります。

<電源線を取外す場合>

- マイナスドライバー等で解除ボタンを押しながら、電源線を引き抜いてください。

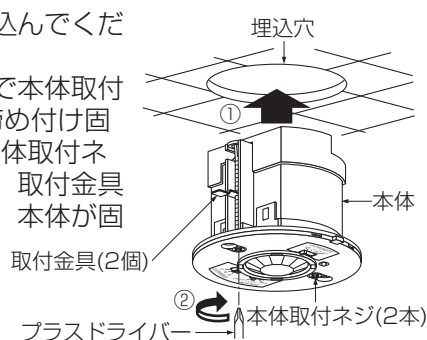
⑤ 本体を取付ける

- 取付金具(2個)が本体内に収まっているか確認してください。



- ①埋込穴に本体を押し込んでください。

- ②プラスドライバー等で本体取付ネジ(2本)を確実に締め付け固定してください。(本体取付ネジを締め込むことで、取付金具が開きながら下がり、本体が固定できます。)



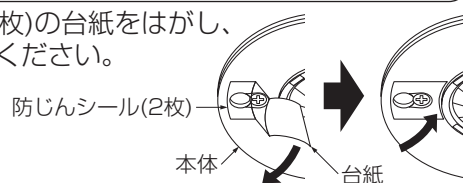
⚠ 警告

取付けが不完全な場合、落下の原因となります。

器具が天井の造営材・ダクト等の設備に触れないようにしてください。火災・感電の原因となります。

⑥ 防じんシールを貼付ける

- 防じんシール(2枚)の台紙をはがし、本体に貼付けてください。

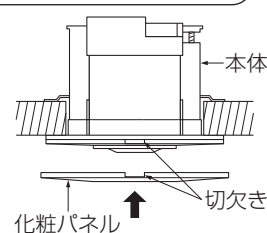


⑦ 使用条件を設定する

- 別紙人感センサーの取扱説明書をご参照の上、使用条件(点灯時間、点灯照度、動作切替)の設定を行ってください。

⑧ 化粧パネルを取付ける

- 化粧パネルと本体の切欠き位置を合わせ、化粧パネルを本体に確実にはめ込んでください。



⚠ 警告

取付けが不完全な場合、落下の原因となります。

⑨ 使用前に確認する

- 取付状態・点灯状態を確認してください。(動作確認方法)

- ①ブレーカー、壁スイッチをONにしてください。

⚠ 警告



壁スイッチは常にON状態でご使用ください。誤動作の原因となります。

- ② 1)電源投入直後(停電復帰直後)から約30秒間は周囲の明るさ(照度)に関係なく点灯します。

※センサーが安定するまでの時間で故障ではありません。

施工説明

- 2)その後約30秒間はテストモードに入ります。周囲の明るさに関係なく、人体を検知すると約10秒間照明が点灯します。検知エリアを確認してください。
- 3)テストモード終了後、自動的に設定モードに入ります。
※出荷時の設定は動作設定ツマミが「ON/OFF」、点灯照度設定ツマミが「切」、点灯時間設定ツマミが「10秒」となっています。
- ③動作設定ツマミを動かし、「ON/OFF」、「8hタイマ」、「12hタイマ」の3つのセンサーモードから設定してください。点灯照度設定ツマミを動かし、センサーが動作する明るさを設定してください。点灯時間設定ツマミを動かし、ランプの点灯時間を設定してください。
※モードの設定については「各部の名称」ならびに人感センサーの「取扱説明書」をご参照ください。

取扱説明 お客様へ

●ご使用の前に安全上のご注意と取扱説明をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

ご使用方法

通常は壁スイッチをONにした状態でご使用ください。

壁スイッチが「ON」の時	1. 周囲が暗くなると	ON/OFFモードの時は、消灯状態のままです。
		8hタイマーモードの時は、8時間点灯状態の後、消灯状態になります。
		12hタイマーモードの時は、12時間点灯状態の後、消灯状態になります。
	2. 人を検知すると点灯状態になります。	
	3. 設定時間(10秒・1分・3分・10分)点灯した後、消灯状態になります。	
	4. 周囲が明るくなると消灯します。(人を検知しても照明は点灯しません。)	
壁スイッチが「OFF」の時	1. 周囲が暗くなっても、人が近づいても、全く反応せず、消灯したままです。	

●詳細については、人感センサーの「取扱説明書」をご参照ください。

ご使用に関して

【留意点】

- 電源投入直後(停電復帰直後)は、約30秒間は動作が安定しません。(センサーが安定するまでの時間で故障ではありません。)
 - 検知範囲に犬や猫が入った場合、動作することがありますが、故障ではありません。
 - 季節等の温度変化により、検知範囲が多少変化することがありますが、故障ではありません。
- ※センサーの動作に異常を感じた場合は、人感センサーの「取扱説明書」7ページの「修理を依頼される前に」を一度確認してください。

【周囲の影響】

- 器具の近くでは、ラジオやテレビ等の音響、映像機器に雑音が入ることがまれにあります。
 - 器具のきわめて近くでは、リモコン機器(シャッター等)のリモコンが動作しにくくなることがまれにあります。
- ※異常を感じた場合は、販売店、工事店、または弊社「CSセンター」までお申し出ください。

【ご注意】

- 器具に殺虫剤等をかけないでください。変質・変色の原因となります。

保証について

- 保証について
この商品の保証期間は1年です。但し、消耗品は除きます。詳細は弊社カタログをご参照ください。
※保証期間の例外
24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の期間とします。
- 保証書について
保証書が必要な場合は、下記「CSセンター」までお申し出ください。
- 補修用性能部品の保有期間
弊社は照明器具の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。補修用性能部品(同等の機能を有する代替品含む)とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

点検とお手入れ方法

- 明るく安全に使用するために6カ月に1回程度、点検および清掃を行うことをおすすめします。
(1)点検項目
・正常に点灯しますか。
・天井との取付部、各部品の合わせ目に異常なガタツキ、ゆるみはありませんか。
・異常な臭い、音、発熱はありませんか。
・カバー(セード)等にひび、割れ、変形等が発生していませんか。
(2)清掃(安全のため、電源を切ってから行ってください。)
器具のお手入れは柔らかい布で軽く拭いてください。
・汚れがひどい場合は、薄めた中性洗剤を含ませた布をよく絞って拭き、洗剤が残らないように水を含ませた布で2度拭きした後、乾いた柔らかい布で仕上げてください。
・シンナー、ベンジン等の揮発性のものは使用しないでください。
2. 異常時の処置
異常を感じた場合は、速やかに電源を切って、販売店、工事店、または弊社「CSセンター」までお申し出ください。(部品等の取り替えは勝手にしないでください。)

商品についてのご相談は CSセンター (0570)003-937(ナビダイヤル 全国共通) へご連絡ください。

受付時間(月～金曜)9：00～17：00 土・日・祝日、夏季、年末年始休業日は受付しておりません。

お客様へ

- ご使用の前に説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- 照明器具の取付工事は必ず工事店・電器店(有資格者)に依頼してください。

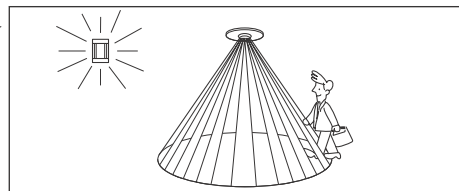
工事店様へ

- 施工の前にこの説明書をよく読み、お客様と打合せのうえ、お客様のご使用に合わせたセンサーの設定にしてください。
- この説明書は必ずお客様にお渡しください。

人感センサー付照明器具の特徴

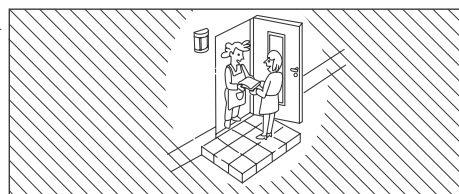
センサー機能

センサーが人を検知すると、ランプが100%点灯します。
人がいなくなると設定された点灯時間(10秒、1分、3分、10分)経過後、消灯します。点灯保持時間が選べます。

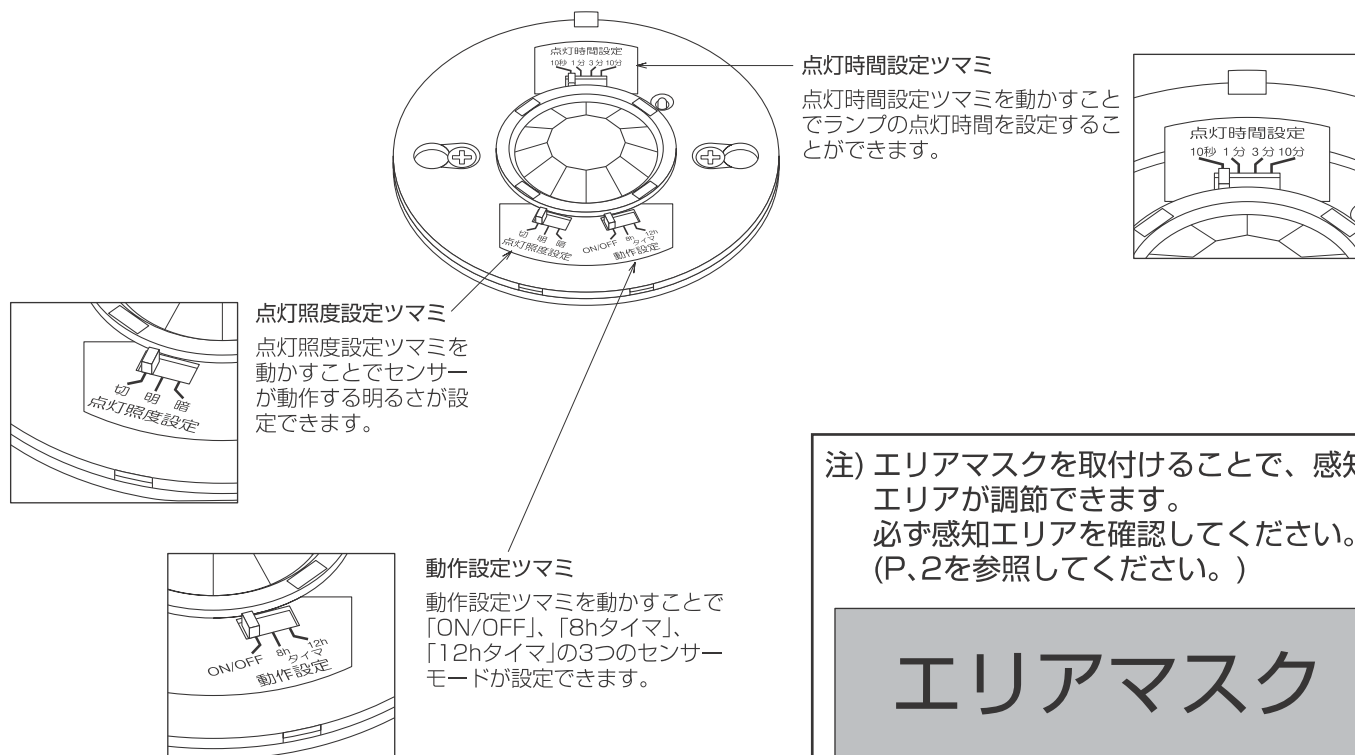


強制ON(連続点灯)

連続して点灯させたい時は壁スイッチをオフにして3秒以内にオンにすると、強制的にランプを100%点灯できます。
解除するときは一旦壁スイッチをオフにし、5秒以上経過後、再びオンにするとセンサー動作に戻ります。



センサー各部の名称



注) エリアマスクを取付けることで、感知エリアが調節できます。
必ず感知エリアを確認してください。
(P.2を参照してください。)

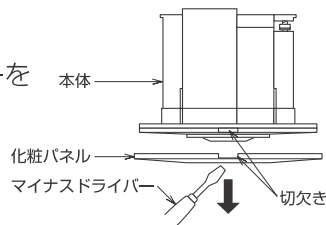
エリアマスク 貼り付け位置

この説明書は必ずお客様にお渡しください

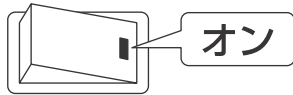
初めて使う時(検知範囲を確認する)

1. 化粧パネルを取り外す。

化粧パネルの切欠きにマイナスドライバーを差し込み、本体から取り外してください。



2. 壁スイッチを「オン」にする。



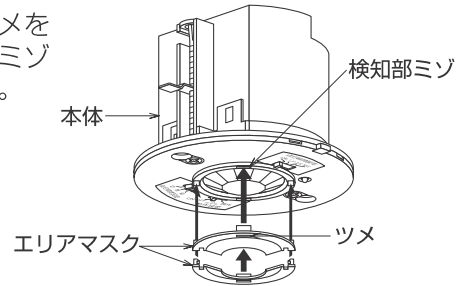
注) 壁スイッチを「オン」にした直後は、ランプが約30秒間100%で点灯(強制点灯)しますが、異常ではありません。

3. 検知範囲を決める。

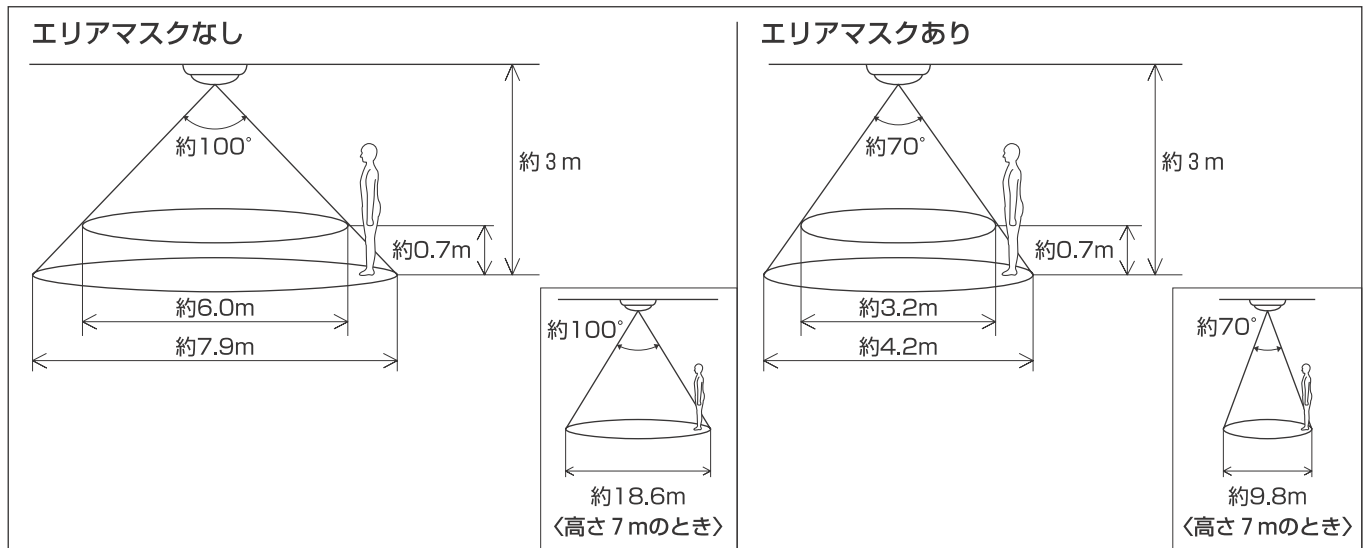
強制点灯(約30秒)後、周囲の明るさに関係なく、人体を検知すると約10秒間ランプが点灯するので検知範囲を確認してください。また、検知範囲が広い場合は、センサーの検知部に「エアーマスク」を取り付けて検知範囲を調整してください。

〈エアーマスクの取付方法〉

エアーマスクのツメをセンサー検知部のミゾにはめてください。

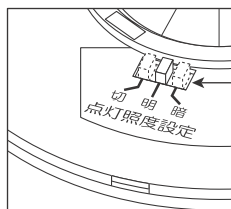


〈センサーの検知範囲〉



4. センサーが動作する明るさを決める。

点灯照度設定のつまみを「切」、「明」、「暗」に合わせる。



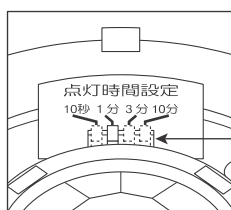
明るさに関係なく点灯させたい。(約10000ルクス以下)
→「切」に合わせてください。

夕方やや明るい時から点灯させたい。
また、明け方に消灯させたい。(約45ルクス以下)
→「明」に合わせてください。

夜暗くなりかけてから点灯させたい。
また、明け方早くに消灯させたい。(約15ルクス以下)
→「暗」に合わせてください。

5. ランプが点灯する時間を決める。

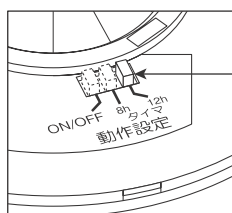
点灯時間設定つまみをお好みの時間に合わせてください。



「10秒」、「1分」、「3分」、「10分」の4段階から選べます。

6. センサーの動作を決める。

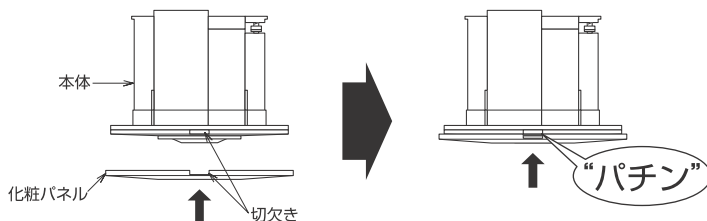
こんな使い方ができます を参考に、好みのモードに合わせてください。



「ON/OFF」、「8hタイマ」、「12hタイマ」に合わせる。

7. 化粧パネルを取り付ける。

化粧パネルと本体の切欠き位置を合わせて、「パチン」と音がするまで化粧パネルを押し上げて本体にはめ込んでください。



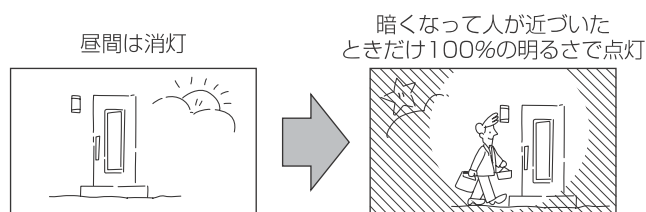
こんな使い方ができます

壁スイッチをONの状態でご使用ください。

「動作設定」のつまみを動かすことで「ON/OFFモード」、「8hタイマーモード」、「12hタイマーモード」で使うことができます。又、壁スイッチの操作で「強制ONモード」もできます。

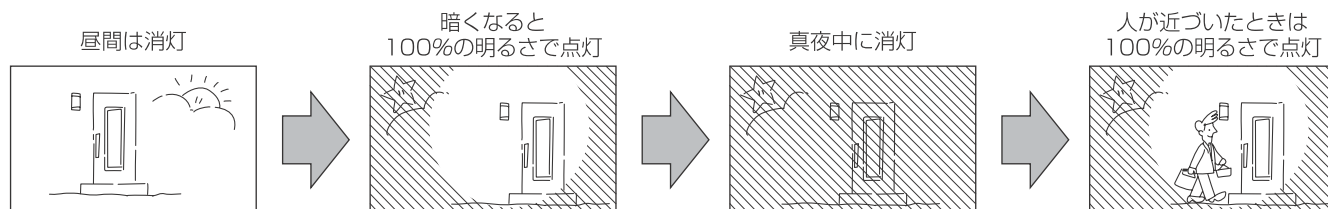
人が来たときだけ明るくしたい

ON/OFFモードの設定へ



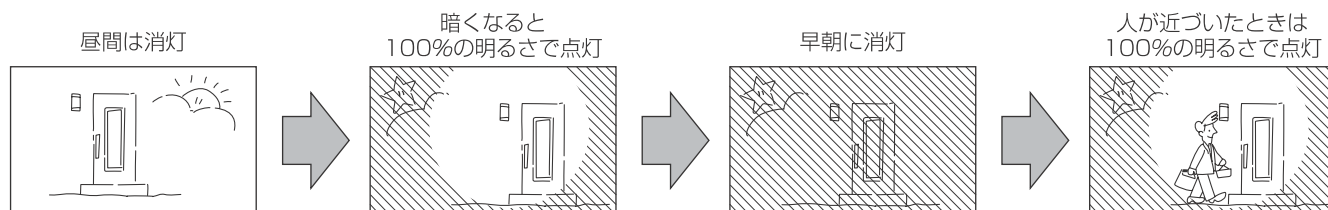
暗くなると自動点灯+夜中は省エネ+人が来たときは明るく

8hタイマーモードの設定へ



暗くなると自動点灯+早朝まで点灯して防犯+人が来たときは明るく

12hタイマーモードの設定へ

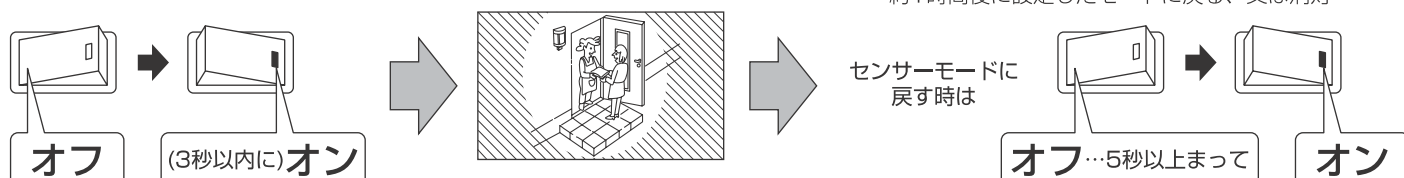


好きな時に照明を点灯させたい

強制ONモードの操作へ

壁スイッチの操作をすると100%の明るさで点灯

約1時間後に設定したモードに戻る、又は消灯



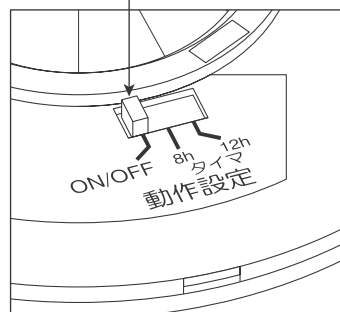
動作設定方法

ON/OFFモードの設定

「動作設定」のツマミを「ON/OFF」に合わせる。

注) 「点灯照度設定」のツマミが「切」の場合、
周囲の明るさに関係なくON/OFFモード
の動作になります。

「ON/OFF」に合わせる

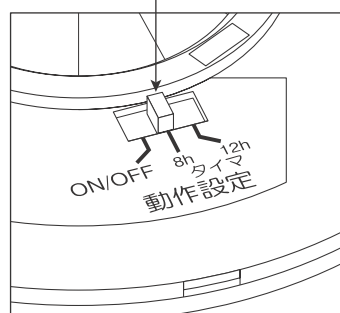


8hタイマーモードの設定

「動作設定」のツマミを「8hタイマ」に合わせる。

注) 「点灯照度設定」のツマミが「切」の場合、
周囲の明るさに関係なく始めの8時間は
100%の明るさで点灯し、その後
ON/OFFモードの動作になります。

「8hタイマ」に合わせる

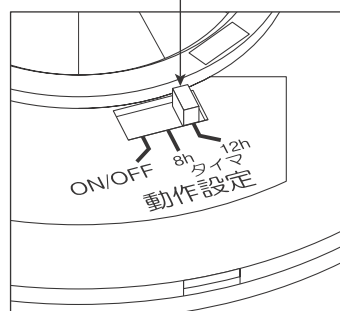


12hタイマーモードの設定

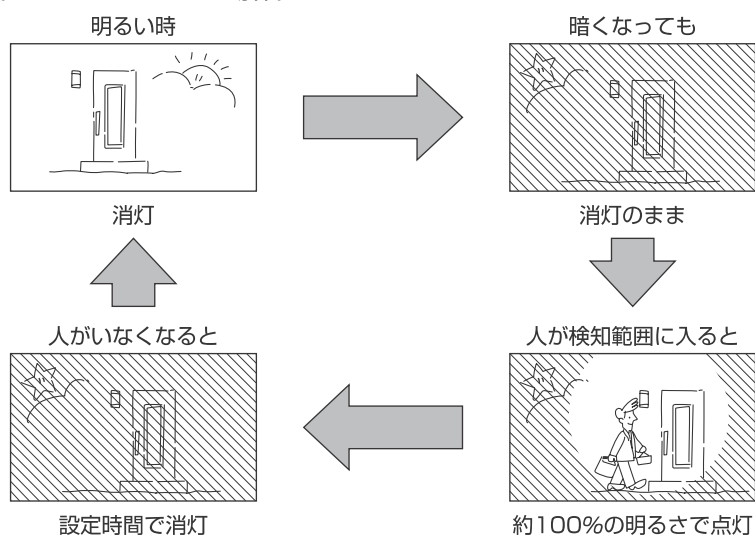
「動作設定」のツマミを「12hタイマ」に合わせる。

注) 「点灯照度設定」のツマミが「切」の場合、
周囲の明るさに関係なく始めの12時間は
100%の明るさで点灯し、その後
ON/OFFモードの動作になります。

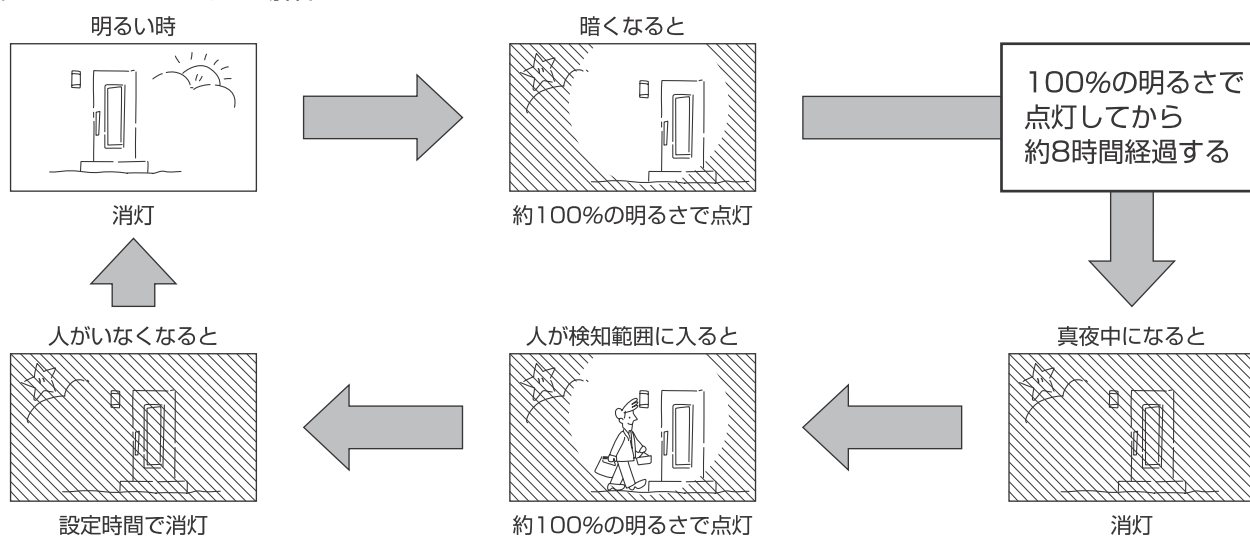
「12hタイマ」に合わせる



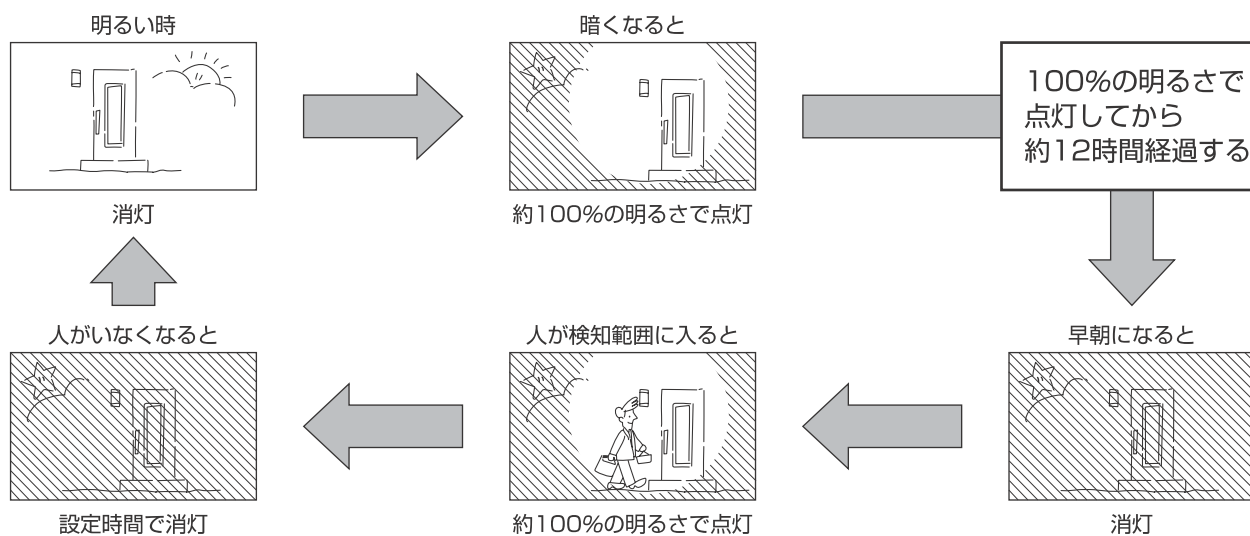
＜ON/OFFモードの動作＞



＜8hタイマーモードの動作＞



＜12hタイマーモードの動作＞

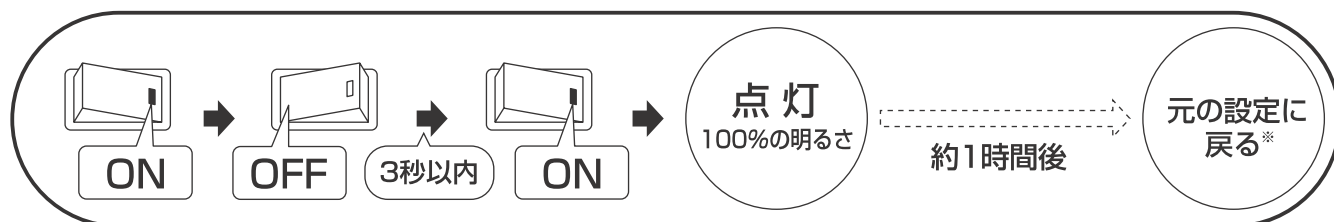


ランプを今すぐ点灯させたいとき 「強制ON」モード

人の有無や周囲の明るさに関係なく、ランプを強制的に点灯させることができます。

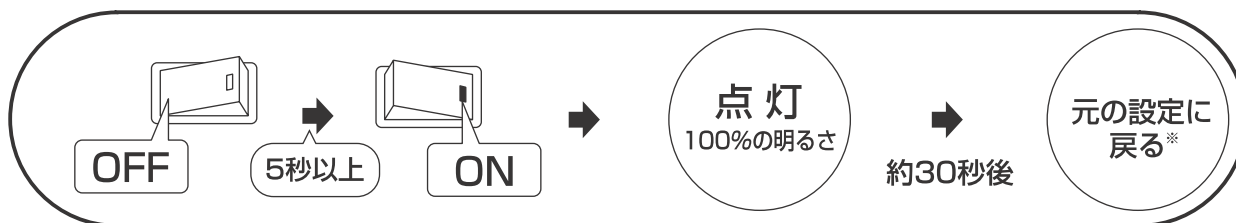
ランプを強制的に点灯させるとき（「強制ON」モードで使用するとき）

- 1 壁スイッチを「ON」にする。（すでに「ON」の場合はそのまま）
- 2 壁スイッチを「OFF」にし、3秒以内に「ON」にする。



元の設定に戻すとき（使用していた設定状態にすぐに戻したいとき）

- 1 壁スイッチを「OFF」にしてから5秒以上待つ。
- 2 壁スイッチを「ON」にする。



※ 元の設定に戻ったとき、設定内容や周囲の明るさなどにより、ランプの点灯状態が異なります。
（設定内容により異なる）

注）壁スイッチを「オン」にした直後は約30秒間100%点灯します。（故障ではありません。）

修理を依頼される前に

- センサーの動作がおかしい時は下記を参考に点検を行ってください。
- もし、正常に戻らない時は、壁スイッチを「オフ」にして5秒以上たってから、「オン」にしてください。
- 処置をした後でも異常があるときは必ず電源を「オフ」にし、お買い上げの販売店、工事店、または照明器具の取扱説明書に記載の当社相談窓口までご連絡ください。

現 象		考えられる原因		処置方法
ランプが点灯したままで消灯しない	➡	壁スイッチを「オフ」にして約3秒以内に「オン」にした。（「強制ONモード」）	➡	「強制ONモード」になっています。壁スイッチを「オフ」にして5秒以上たってから「オン」にしてください。
	➡	「点灯時間設定」のつまみが「10分」になっている。	➡	「点灯時間設定」のつまみを「10秒」、「1分」、「3分」にしてください。
	➡	明け方 「点灯照度設定」のつまみが「明」になっている。	➡	朝、明るくなる頃までセンサーが動作する設定になっています。「点灯照度設定」のつまみを「暗」にしてください。（→「初めて使う時」をご参照ください。）
	➡	「動作設定」のつまみが「12hタイマ」になっている。	➡	「動作設定」のつまみを「8hタイマ」にしてください。
	➡	明るいとき 照明器具の取付場所が薄暗い。（昼間でも暗い時がある。） 昼間でも、曇り、雨などで周囲が暗くなった。 センサーの検知部を傘、手などで覆ってしまった。	➡	「8hタイマーモード」「12hタイマーモード」でご使用の時は、昼間でも周囲が薄暗い時や曇り、雨などで周囲が暗くなった時は、まれにセンサーが夜と勘違いしてランプを点灯させることがあります。壁スイッチを「オフ」にして5秒以上たってから「オン」にしてください。
	➡	「点灯照度設定」のつまみが「切」になっている。	➡	「点灯照度設定」のつまみが「切」のときは周囲の明るさに関係なく、センサーが人を検知すればランプが点灯します。「点灯照度設定」のつまみを「暗」又は、「明」にしてください。
検知範囲に人がいるのに点灯しない	➡	夕方 「点灯照度設定」のつまみが「暗」になっている。	➡	暗くなりかけてからセンサーが動作する設定になっています。「点灯照度設定」のつまみを「明」にしてください。（→「初めて使う時」をご参照ください。）
	➡	暗いとき ランプが切れている。	➡	新しいランプに交換する。（→適合ランプは照明器具の取扱説明書又は、照明器具に貼付のランプシールをご参照ください。）
	➡	ランプが緩んでいる。	➡	ランプを締め直す。（→照明器具の取扱説明書をご参照ください。）
検知範囲に人がいるのに点灯しない	➡	暗いとき 壁スイッチがオフになっている。	➡	壁スイッチをオンにする。
	➡	センサーの検知部に他の照明器具の光が当たっている。	➡	センサーの検知部に当たる光を遮断してください。
	➡	センサーの検知部が汚れている。	➡	センサーの検知部の汚れを柔らかい布で拭き取ってください。

現 象		考えられる原因		処置方法
検知範囲に人がいないのに点灯する	➡	電源を「オン」にした直後。 又は、停電から復帰直後。	➡	電源を「オン」にした時は、約30秒間100%点灯します。 その後、約30秒間のテストモード(人を検知すれば10秒間オン)ののち、設定されたセンサーモードになります。
	➡	検知範囲内に人以外の熱源などがある。 例：自動車の熱やヘッドライト 近くの道路の通行人 犬や猫などの動物 風などでよく揺れるもの (洗濯物、旗、植木など) 他の照明器具 エアコンなどの吹出口からの風 強いノイズ(無線ノイズなど) 雨や雪、風など	➡	熱源を取り除く、又は検知エリアを調整する。 検知範囲内に左記の例のようなものがあれば、周囲の温度変化を検知し、センサーが動作することがあります。 故障ではありません。
検知範囲に人がいるのに消灯する	➡	検知範囲内で人が静止している。	➡	静止している人は検知できません。
検知範囲が狭い	➡	雨の日に傘などで顔や手が隠れている。	➡	センサーは温度変化を検知するため、左記の場合は検知しにくくなることがあります。
	➡	マフラーで顔を覆ったり手袋をしていて肌の露出部分が少ない。		
	➡	夏の暑い日などで周囲温度と人との温度差が少ない。		
	➡	エリアマスクがついている。	➡	エリアマスクを外す。
点灯時間がおかしい	➡	点灯時間が短い(約10秒で消灯) 点灯時間設定ツマミが「10秒」になっている。	➡	点灯時間は「10秒」、「1分」、「3分」、「10分」から選択することができます。 (→「初めて使う時」をご参照ください。)
	➡	点灯時間が長い(約10分で消灯) 点灯時間設定ツマミが「10分」になっている。		

クリーニング方法

- 乾いた布で汚れを拭き取ってください。汚れが落ちにくい場合は、よく絞った布で拭き取り、最後に乾いた布で拭き取ってください。
- クリーニング後、動作を確認してください。以前と動作が違った場合、再度、設定してください。



直接、センサーに水をかけないでください。故障の原因となります。